



市消防操法大会 開かれる

優勝した一之瀬分団は県大会へ

消防団員の消防技術や士気を高めて、火災防御活動に役立てる「市消防操法大会」が7月7日、大垣衛生センターで開かれました。今年「小型ポンプ操法」を実施し、放水して標的を倒すまでの時間や動作の正確さ、規律などを審査する「競技の部」に17分団、訓練成果を披露する「展示の部」に6分団が出場しました。

団員らは、猛暑の中でも機敏な動きを見せ、厳しい訓練を重ねてきた成果を発揮していました。

優勝した一之瀬分団は、10月27日(日)に岐阜県消防学校で開催される県大会に出場します。

〈成績〉優勝：一之瀬分団
準優勝：日新分団
3位：荒崎分団



「広報おおがき」の 発行回数・紙面サイズ アンケートにご協力ください

市民ニーズに対応した「広報おおがき」の発行回数と紙面サイズへの見直しを検討する基礎資料として、市民の皆さんからのご意見を次のとおり募集します。

多くの市民の皆さんからご意見をいただき、今後の広報紙づくりに生かしていきますので、ご協力をお願いします。

詳しくは、秘書広報課（☎47-7376）へ。

＜アンケートの実施方法＞

- ▶アンケート項目
 - ①広報おおがきの発行回数の希望 月2回 または 月1回
 - ②広報おおがきの紙面サイズの希望 タブロイド判 または A4判
 - ③その他、広報おおがきに関するご意見
- ▶募集期間 8月30日(金)まで
- ▶意見の提出方法
 - 市HPの「電子申請サービス」から提出または、郵送・ファクス(いずれも様式自由)で、秘書広報課(〒503-8601 丸の内2-29、FAX47-8622)へ
 - ※アンケートの回答は1人1回でお願いします



市HP

＜参考＞

- ▶発行回数の主な特徴
 - 月2回→新しい情報をできるだけタイミング良くお届けでき、1回の情報量が多くなりすぎない。配布をお願いしている自治会の負担がある。
 - 月1回→配布をお願いしている自治会の負担が軽減される。1回の情報量とページ数が増える。
- ▶紙面サイズの主な特徴
 - タブロイド判(現在の広報おおがき)→文字が大きく、紙面エリアも広いので視認性が良く読みやすい。各家庭のポストに入れるのに半分に折る必要があり、保存するのにかさばる。
 - A4判→一般的な印刷物によく使われるサイズ。タブロイド判よりも紙面エリアが狭いため、文字が小さくなりページ数が増える。

[有 料 広 告]